

I 教育目標

(1) 本校の教育目標

校訓 「立志 礼節 鍛練」

自他の生命の尊重、思いやりの心の尊重を基盤として

◎目標を立て、その実現に向けて**継続**して努力する生徒の育成 (**立志**)

◎礼節を重んじ、思いやりの心を持つ生徒の育成 (**礼節**)

◎自らの**心身**を鍛え、困難に打ち勝つことのできる生徒の育成 (**鍛練**)

(2) 経営方針

生徒が自ら学び考え、「生き抜く力」を育むため、生徒一人一人の**声を大切に**し、教職員と生徒・保護者・地域の人々が信頼と協力のもと**創造的・意欲的に活動**し、生徒・保護者・地域の人々・教職員全員が**愛することのできる学校づくり**をめざす。

(3) 本年度の重点努力目標と具体的な方針

①愛情と熱意をもった学級経営・学年経営

- ・集団に所属する喜びや楽しさ、感動を味わわせることができる学級・学年経営を推進する。
- ・生徒が互いに学び、認め合い、高め合うことのできる学級・学年経営を推進する。
- ・いじめや不登校などの問題行動の予防・早期発見・解決に努め、安心して生活できる学級・学年経営を実現する。
- ・生徒の問題行動を職員間で共有し、学級・学年の枠にとらわれず全校体制で指導にあたる。
- ・QUなど客観的資料を積極的に活用し、学級経営の改善を図る。
- ・教職員の働き方に関する意識改革を進め、教職員が心身ともに健康で、ゆとりをもって学級・学年の生徒と向き合えるように努める。

②社会を生きていくための力を培う学習指導

- ・「わかる」「できる」喜びや楽しさを体得できる授業の実現を図る。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、指導方法の工夫に努める。
- ・指導と評価の一体化を図った評価実践をする。
- ・総合的な学習においては、キャリア教育を通して、「生き方の探究」をテーマに学ぶ意欲を高めるとともに学び方を学ぶ機会を設ける。
- ・英語教育を通じた交流活動を模索し、国際理解教育の継続を図る。
- ・個に応じた支援の充実・拡充を図る。
- ・教職員の指導力向上のための研鑽に努める。

③正しく判断し行動できる生徒の育成

- ・あいさつ、言葉遣い、身だしなみ、係・当番・清掃等の仕事の遂行など基本的な生活習慣の確立に努める。特に、**給食・清掃**指導に注力し、自分の責任をきちんと果たせる生徒の育成に努める。
- ・生活のきまりを生徒とともに考え、見直しを行うとともに、主体的に正しく判断し行動できる能力・態度の育成に努める。
- ・生徒の意見や考えが尊重され、生徒が主体的に活動する生徒会活動を推進する。
- ・「特別の教科 道徳」を中心とした道徳教育の充実^①に努め、生徒の規範意識・公共の精神の涵養に努める。
- ・水野中学校の良き伝統である「合唱」の充実^②に努める。

④心身ともに健康でたくましい生徒の育成

- ・心身の健康に関する意識を高め、自分の健康を保持・増進する能力・態度の育成に努める。
- ・保健体育の授業・体育的行事・部活動等で生徒の体力の向上に努める。
- ・必要に応じた支援をしながら、学習指導・行事・部活動などさまざまな活動の中で困難を乗り越える経験をさせていく。
- ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけさせるため「小さな食育授業」を推進する。

⑤保護者・地域・外部機関と連携した学校経営

- ・保護者・地域の方の学校に対する理解を深めるため、学校だより・学年通信やホームページなどでの効果的な情報発信を積極的に進める。
- ・生徒が郷土の歴史・特色に関心をもつことで、学校や地域に対する所属意識・連帯感を高め、郷土愛の醸成に努める。
- ・郷土の特色ある産業である「窯業」「農業」とのかかわりを通して、地域に対する理解を深め、愛着をもてるように努める。
- ・生徒が地域の方と交流する機会を設け、地域の教育力を活用して生徒の健全育成に努める。
- ・SC・SSWerをはじめ、市適応指導教室（オアシス 21）、ここほっとルーム、子ども・若者・家庭センター、警察署などとの連携を強化し、生徒や家庭にかかわる諸問題の解決を図る。

⑥教職員の多忙化解消に向けた業務改善

- ・業務効率化の視点を教育活動の振り返りに取り入れ、常に業務改善や見直しを進める。
- ・部活動の活動時間と大会への出場回数を見直し、在校時間の縮減を図る。
- ・会議や部会の持ち方を工夫したり、時程内に行えるようにしたりして、教職員個々の業務時間確保を図る。
- ・ICT機器や校務支援システム、Webを利用した出欠席、自動採点等デジタル技術などを活用し、各種業務の効率化を図る。
- ・定時退校日を毎月2回設定し、計画的な業務遂行に向けた意識の向上を図るとともに、在校時間の縮減につなげる。

⑦小中9年間の指導の継続性を図る小中一貫教育

- ・小中間の学習内容・指導方法に関する相互理解を深め、小中間の系統性のある指導に努める。
- ・小中間の児童生徒に関する情報交換を密にし、児童生徒に関する理解を深める。
- ・防災教育やSDGsを共通課題に教育活動を展開する。